

ほんまやばいで！TPP

二月十六日、大阪市立中央会館にて「環太平洋経済連携協定」(TPP)を問う、「ほんまやばいでTPP」二・一六シンポジウムが開催されました。

実はこの集会で講演される予定であった三里塚農民の萩原進さんが、二月二十一日に急逝されました。また折からの大雪の影響により同じくメインスピーカーである農業ジャーナリストの大野和興さんも会場に來ることができないという

事態にあって、萩原さんを追悼し黙祷するところから、集会は幕を開けました。

司会は関西地区生コン支部の西山さん。

はじめに「歌劇派芸人」

趙博さんの歌がありました。おなじみ「橋」のほか、「反対同盟の歌」も歌われました。

また一九七三年に「カメカメ合唱団」により歌われたという歌は、福島原発事故から三年の現在の状況をまさに表すもの

でした。

健康保険も薬もやばい

報告①として「国策による農地取り上げを許すな」と題し、山口千春さん(市東さんの農地取り上げに反対する会事務局長)のお話がありました。非正規の医療労働者でもある山口さんは、TPPのもとでは健康保険も国民皆保険ではなくなり、

生命保険のような民間の会社の保険に入っていないと救急車にも乗ることができない、まさに現在のアメリカと同じ状況に

なる。しかし一方で日本の製薬会社がすでに、国内では副作用の強さから五日間しか飲めないときとされている薬をアメリカで販売し、アメリカでは二年飲み続けている人もいます。TPPに参加すれば日本は被害者のみでなく、アジア諸国に対する加害者となる。

またアメリカでは「労働の自由」の名の下に企業が個人と労働契約を結ぶことが進められ、労働組合の力が弱まっている。TPPは私たちの暮らし

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！

をまるごとひっくり返すものだと言われました。

空港会社が農地取上げ

国は庶民を守らない

また祖父の代から守ってこられた三里塚の市東孝雄さんの農地に対し成田空港会社が突然明け渡しを求め現在控訴審が闘われている問題に関して経過を述べられ、この暴力的な農地取り上げについて社会問題として大きく声を上げていかなければならない、国策は決して庶民を守らない、企業の利益優先では安全な食べ物には作れないと話されました。

沖縄の帰趨決める一年

続いて大湾宗則さんに

よる報告②「米軍Xバンドリーダー基地建設に反対して」がありました。

大湾さんは、京都沖縄

県人会会長として、米軍

Xバンドリーダー基地反

対近畿連絡会共同代表を

務めておられます。はじ

めに一月十九日の名護市

長選の勝利そして九月の

名護市議選、十一月の沖

縄知事選という今後の沖

縄での闘いに触れられま

した。

住民に合意を強要

Xバンドリーダー基地

京都府経ヶ岬では、4

月にもXバンドリーダー

のための工事着工がなされようとしています。これに対し近畿連絡会では

三月二〇～二十一日にか

けて府・防衛省・米軍への

申し入れ行動と決起集会、

四月二〇日の現地闘争が

準備されています。

Xバンドリーダーは、

グアムの米軍基地にもある

THAAD(サード)ミサイル

のために開発されたもので、

命中精度が悪く膨大な税金の

浪費でありながら一方で住

民に危険な被害をもたらす

のです。

昨年末、当局は現地の

住民に対し、「取り上げ

ではなく借りる」という

巧みな表現のもと「お国

のためだと思って」と国策を露骨に示し、「拒否

すれば村八分にあうので

は」という不安を煽りな

がら、地権者に土地借り

上げの同意書へのサイン

を強要しました。大湾さ

んは沖縄県民とりわけ名

護市民を手本に学びなが

ら、米軍基地撤去の闘い

を進めたいと話されまし

た。

また、TPPは安倍内

閣のファッショ的手法に

よる国策としての産学官

軍一体の産業合理化であ

ると言われ、当事者とし

て闘いながら国策に苦し

むあらゆる人々と手を結

びたいと述べられました

HY